

会報

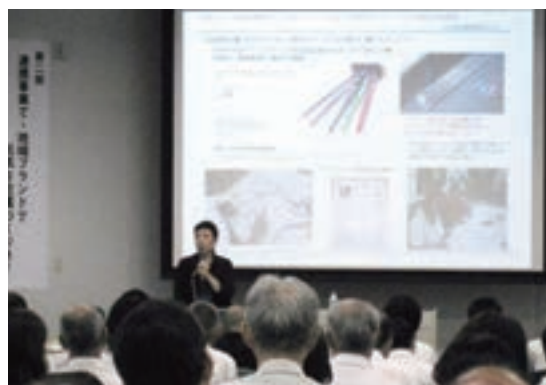


第10号
2012.12.7

『岐阜高専地域連携協力会地域活性化セミナー開催』

8月23日（木）に、本会と本会会員の西濃信用金庫せいしんビジネススクラブの共催により、地域活性化セミナー「連携事業で 地域ブランドで 元気な企業づくりを！」を岐阜高専図書館多目的ホール等で開催しました。

セミナーは3部構成で行われ、第1部講演会では、講師に中小企業基盤整備機構中部本部・本部長の塩田康彦氏を迎え、「この地域の問題点と連携の必要性」と題した講演が行われ、国による中小企業支援体制が紹介されました。続いて第2部講演会では、株式会社クリエイティブ・ワイズ・マーケティングコンサルタントの三宅曜



講演する三宅曜子氏

子氏から「キラリと光る地域ブランドづくり」と題した講演が行われました。三宅氏は、昨年なでしてJAPANが国民栄誉賞を受賞した際に記念品として贈られた“熊野の化粧筆”のブランド化に携わっており、数多くの地域ブランド立ち上げや中小企業支援の事例が紹介され参加者約180名が興味深く耳を傾けていました。

また、講演会終了後に行われた第3部の分科会では、本会会員を含む様々な業種の事業者約60名が参加し、①食材活用・農業ブランド化、②新観光開発、③先端技術活用、④ソーシャルビジネス・販路拡大、⑤森林の活用、の5テーマに分かれ、各テーマごとに参加した事業者が新しく事業化できることや、お互いに協力して事業化する可能性についてグループワークを行いました。参加者は塩田氏、三宅氏にアドバイスを仰ぎながら活発に意見交換を行い、分科会終了後には、企業情報や名刺交換を行うなど、有意義なセミナーとなりました。



グループワークする参加者

目次

- 岐阜高専産学官連携アドバイザー紹介 2
- 平成25年度事業計画 5
- 平成24年度技術相談 5
- 研究プロジェクト紹介 6
- 岐阜高専・中核人材育成塾 8
- 岐阜高専TOPICS 9
- 協力会会員一覧 11
- 会員募集 12

岐 阜高専産学官連携 アドバイザー紹介

岐阜工業高等専門学校
地域技術開発・教育センター
センター長 和田 清

本校では、会報第6号と第8号でお伝えしたように岐阜高専地域連携協力会会員の皆様と本校との産学官連携活動の窓口を充実することを目的に、平成22年度から産学官連携アドバイザーを計11名配置しました。

平成24年度は、さらに8名を増員配置し、会員の皆様からの技術相談や本校への要望をお聞きし、より幅広く対応できるよう対応しますので、お気軽にお声掛けいただきますよう紹介いたします。



電気情報工学科卒業
第5期生

桜井 邦彦

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は本校を1972年に卒業後、NECに就職し、主に通信端末装置の設計、製品企画などを担当し、少し早めの定年退職後、2009年に高齢の両親が住む故郷の関市に帰郷しました。

その間、量産工場の技術部門での勤務や台湾の会社への生産委託など、自分たちが企画・設計した製品の量産における原価管理・生産管理・品質管理の大切さも身近に経験しました。

NEC勤務の後半で担当していた製品が光ファイバー回線で家庭や事務所からインターネット接

続をするための装置であったこともあり、ネットワーク技術やコンピュータシステム利用技術などで貢献することができればと思っています。よろしく願い申し上げます。



環境都市工学科
旧土木工学科 第1期生

櫻井 省三

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、本校を卒業後、株式会社奥村組に就職しゼネコン社員として各分野の建設工事に携わってきました。専門分野として、都市土木工事の明り工事、シールド・推進工事等です。そして現場の他に施工管理、品質管理、安全管理、原価管理など統括管理部門にも従事しました。

海外工事では、台湾・高雄地下鉄工事に所長として従事し、国によって違う考え方を乗り越えて無事完成出来た事が、良い経験となりました。その間、台湾の多くの近代日本土木遺産にも触れて来ました。

現在は、今迄の経験も生かし防水・地盤改良・管更生工事（長寿命化）を施工する専門工事会社の営業部門に従事しています。

アドバイザーとして、支援できるのは土木工事に関する上記に述べた「総合管理業務や施工技術、長寿命化対策」です。また産学官に多くの知り合いがいますので、各方面の人脈を活用しながらアドバイスできると考えております。宜しく御願います。



環境都市工学科
旧土木工学科 第2期生
國 枝 重 一

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、本校を卒業後建設省（現国土交通省）に入り平成16年まで勤め、現在は、民間の総合建設会社（ゼネコン）に勤務しております。また、建設部門の技術士仲間とともに当校の学生さんへ現場見学などのお手伝いをしております。

建設省は、国の機関ではありますが、私は北陸、中部地方の現場で、ダム、河川、海岸など自然災害の防備施設整備の計画・調査を担当してきました。災害などの現地調査にもとづき河道計画、岩盤・土質、河川水質や自然環境保全策へ具体の現地施設計画作りです。また、県や市町村の地域づくりの課題との調整や、地権者との協議にも多く携わりました。

今、当高専と地元の行政・企業との連携協力が求められるなか、特に環境都市工学科、建設工学専攻部門では当地域特有の具体テーマが多くあると思われます。例えば川の自然再生などです。

行政技術の経験者として、国機関が持つデータ収集をして地域との共同研究に繋げるなどお役に立てるよう努めますのでよろしくお願いします。



環境都市工学科
旧土木工学科 第2期生
宇 野 哲 夫

このたび、岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、昭和44年3月本校を卒業後、2年間の民間勤務を経て岐阜県職員となり、36年間土木建設行政に携わりました。

平成19年3月退職し、現在は県内の建設コンサルタントで役員として勤務しております。

岐阜県在職中は、岐阜駅周辺鉄道高架事業、情報通信基盤整備等のプロジェクトに携わると共に、主に道路畑を歩き、土木事務所長、工事検査室長、建設研究センター役員等を歴任しました。

これらの行政経験やお世話になった多くの人達との人脈を通して、母校や地域の発展のお役に立てればと考えております。よろしくお願いします。



環境都市工学科
旧土木工学科 第7期生
新 川 隆

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、昭和49年3月に土木工学科を卒業後、岐

阜市にあります株式会社市川工務店に就職し現在に至っております。

会社では、鉄道工事、ダム工事および橋梁下部工事等に従事し、現場の施工計画・施工管理を主に行い、現在はそれに加え総合評価落札方式の技術提案書の作成などをしております。その中で、多く経験した工種として、コンクリートの製造、施工、維持管理があります。

私がアドバイザーとして支援ができるのはこの分野になります。

土木のアドバイザーの役割としては、地元建設業者がどんな技術を求めているか、困っているのは何か、また、岐阜高専との連携の意義を考えていく事だと思えます。

私の力は微力ではありますが、地域の皆様と岐阜高専発展のお役に立てれば幸いです。



名誉教授 工学博士
(一級建築士)

大澤 徹夫
(建築学科)

このたび岐阜工業高等専門学校産官学連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、来年度は本校を含め、昭和38年度に開校された高専の50周年にあたりますが、新設の計画に当たってモデルとなったのは旧制工専（明治末～昭和23年、以降新制大学の工学部に編入）であるとされています。

旧制工専は前半の名称高等工業学校時代を含めて存続年数は、開校の古い場合でも45年前後であ

り、本校の歴史はこれを超えているのであります。

この50年間に亘る研究成果の蓄積は相当の評価に値するものと考えて、産官学連携に微力ですがお手伝いできれば幸甚に思っています。

私は、開校から5年遅れにて増設された建築学科に昭和45年に着任して以来33年に亘り、主として建築環境工学の分野で教育と研究活動を行ってまいりましたのでアドバイザー活動も自ずとこれに沿うこととなると考えます。



名誉教授 工学修士

水野 耕嗣
(建築学科)

このたび岐阜工業高等専門学校産官学連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

国立岐阜高専建築学科のほぼ創設期から35年間にわたり、私は研究分野（建築史）の関係から教官として学校の講義・実習はもちろん、建築学科が岐阜県下の高等教育機関関係では本校しかなかったことから、古建築関係、特に文化財の指定や保存に関するお手伝いをさせて頂いております。

ご存知のように、岐阜県下には、日本を代表する華麗な「高山の屋台」があります。

確固として動かない建造物以外に、動く仮設構築物「山車」の研究に私が着手して以来、各地山車の構造・様式、また装飾彫刻など従来の建築史の範疇でなかったものの調査研究・保存修理にも分野を広げ、これらのご相談にも対応できるのではないかと考えています。



名誉教授 工学修士

土 井 康 生
(建築学科)

このたび岐阜工業高等専門学校産学官連携アドバイザー就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、名古屋工業大学で10年間・本校で29年間教員として主に建築構造の分野の授業や研究（委託研究を含む）を行ってきました。在職中に、講

習会の受講を経て、建築物の安全性確保のための構造計算適合性判定に関する専門的意見を答申する岐阜県建築構造専門委員に就任し、現在も委員を務めています。

また、大地震に備えるため、県下の建築物耐震診断・補強計画の審査を行う委員会において、専門委員会委員長、判定委員会副委員長をつとめ、本校の教員にも委員に就任していただいています。

日本建築センターの認定委員や全国鉄骨評価機構の中部地区評価委員として、鋼構造物の製作や管理システムに関する審査の仕事もしていますので、これらの分野でアドバイザーとしてお役に立てればと思っております。

事業計画

岐阜高専地域連携協力会 平成25年度（H24.12～H25.11）事業計画

年月	運 営	事業(共催事業含む)	会 報
H24年 12月		第6回岐阜高専地域連携協力会総会,岐阜高専産官学交流懇談会テクノシンポジウム,交流会	会報発行
H25年 1月			
2月	運営委員会		
3月		知財講演会	
4月	運営委員会		
5月			
6月			会報発行
7月		インターンシップ受入	
8月	運営委員会	地域活性化セミナー	
9月			
10月			
11月	役員会	ぎふサイエンスフェスティバル(ぎふサイエンスフェスティバル実行委員会主催)	
12月		第7回岐阜高専地域連携協力会総会,岐阜高専産官学交流懇談会テクノシンポジウム,交流会	会報発行

【上記以外の活動】 ・技術研究会(共同研究募集を含む)

- ・人材育成事業(人材育成セミナーを拡充)
- ・インターンシップ受入れ事業
- ・企業見学会(随時)
- ・技術相談(随時)
- ・補助金事業説明会
- ・企業データベースの構築
- ・地域貢献事業用ノベルティグッズ作成

技術相談

技術相談件数

平成23年度 27件
平成24年度 13件(H24.11.1現在)

共同研究受入件数

平成23年度 20件
金額 10,312 千円
平成24年度 12件(H24.11.1現在)
金額 5,244 千円

【相談窓口】 お気軽にご相談下さい。

岐阜高専 杉山コーディネーター
tel.058-320-1245 fax.058-320-1220
e-mail.sugiyama@gifu-nct.ac.jp
産学官連携アドバイザー
tel.058-320-1219 fax.058-320-1220
e-mail.kiho@gifu-nct.ac.jp



研究プロジェクト紹介

本会では平成23年度から、本会会員企業のニーズに伴う岐阜高専との各種新規研究・開発を目的とする「研究プロジェクト」を公募により募集し、助成することといたしました。

今年度に申請があり、本会運営委員会で審査のうえ採択された3つの研究プロジェクトについて、研究方法や進捗状況を紹介します。

ー研究プロジェクト1ー

高齢者の利用を考慮したスマートフォンのプラットフォーム技術の研究開発



研究代表者：
電気情報工学科 田島 孝治
共同研究企業：
株式会社トゥ・ステップ

多くの先進国において、少子高齢化が社会問題となっています。本研究は、高齢者の健康増進と、徘徊行動に対する早期発見を目的としたシステムの開発を目指し、昨年度より実施しています。

この研究で製作中のシステムは、家族と高齢者がともにスマートフォンを持つ時代を想定しています。そして、家族と保護者のスマートフォンを、インターネット上に設置した専用のサーバコンピュータを通し、いつでも情報のやりとりができるようにします。この結果、家族が高齢者を見守り「今、どこにいるか」をすぐに探せるだけでなく、高齢者がいつでも、簡単に、「今、ココにいるよ」というメッセージを家族に送れるようになります。このコンセプトから、システムの名前は「イマドコ・ココ」と付けました。



図-1 イマドコ・ココの概要と実行画面

本システムを作るにあたり、情報機器に詳しくなかったり、メガネなしでは小さな文字は読めなかったりする年配の方を考慮したインタフェースを設計しました。図1のように大きな画面とボタンを用意し、ボタンを数回押すだけですべての操作が完了するような設計としました。

現在までに、位置を相互に通知できるようにする機能と、写真を共有する機能の搭載が完了しました。写真の共有機能は、離れて暮らす家族が撮った孫の写真を、特に操作することなく高齢者の方が見て楽しめるようにしたり、高齢者が散歩中に取った写真を、家族や近所の方にすぐに見せて自慢できるようにしたりする用途を想定しています。この結果、スマートフォンを「監視するための機械」ではなく、「自分と家族をつなぐお守り」にしたいと考えています。

本年度は、一台の専用サーバで動作していたソフトの一部機能を、クラウドサービスへ移行することで、安全性を維持したまま、可用性を高めることを検討しています。クラウドサービスを使うことで、分散配置された複数のコンピュータ上でシステムを動作させることができるようになります。この結果、多くの利用者の同時利用に耐えられるだけでなく、自然災害などで局地的なサーバ障害が起きても継続した運用が可能になります。

また、システムの起動に関する工夫も検討中です。本システムはAndroidと呼ばれるスマートフォンの基本ソフト上で動作しているため、ソフトの操作は簡単でも、何らかの不都合で基本ソフトの操作が必要になると、高齢者にとっては文字の大きさや、操作の複雑さが問題になります。この問題を解決するために、基本ソフトの画面にも手を加え、起動や充電の指示を出す方法を検討しています。

－研究プロジェクト2－

森林調査及び森林資源の有効利用に関する研究



研究代表者：

環境都市工学科 吉村 優治

共同研究企業：

株式会社青山製材所
西濃建設株式会社
株式会社東洋スタビ

現在、地球規模の温暖化対策として、温室効果ガス削減が急務となっており、国土の全体に占める森林の割合が約66%ある日本においては、森林吸収量で温室効果ガス約3.9%が削減可能であると言われている。しかしながら、間伐材の利用方法が確立していないため、森林整備が進んでいないのが現状である。本校の立地する本巣市は森林面積割合が86%にも及んでいる。

そこで、本研究では、間伐材利用を啓発するために、本校と複数の企業が連携し、森林調査を実施するとともに、森林資源の有効な利用方法の提案を目指している。

この目的達成のためには森林調査はもちろんであるが、啓発活動も重要であり、本校1号館南の中庭には、間伐材を使用した建物2棟、物置小屋1棟、テーブル1台、ベンチ6脚を設置しており、昨年度からは一次破碎材利用の木質舗装の試

験ピット、庭全体に木質チップを散布するなど啓発の環境を整えてきた。

図1 (a)(b) は本校中庭の温度状況 (2012.8/25 10:00) を示したものである。図から、手前のコンクリート部分が赤く高温を示し、植生のある場所は青く低い温度を示すことが一目瞭然である。今後は、地中に設置している熱電対データの分析、木質舗装の有用性などを検証する予定である。



図1 (a) 中庭写

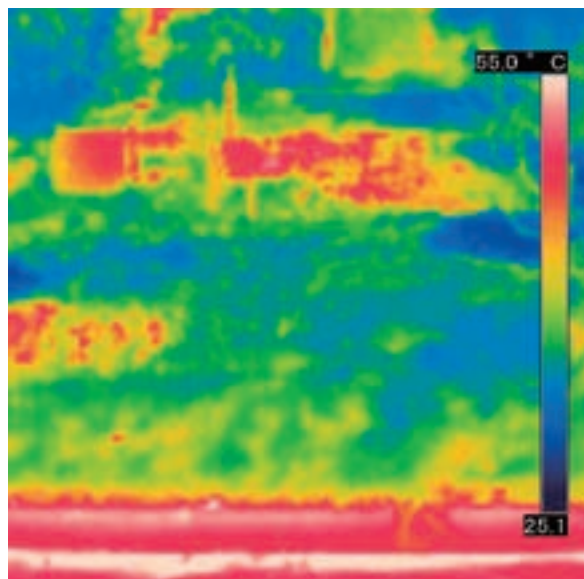


図1 (b) 熱画像写真

ー研究プロジェクト3ー
防災減災対策のためのウェブGISの開発



研究代表者：
環境都市工学科 廣瀬 康之
共同研究企業：
岐阜県(情報技術研究所)

現状として災害関連情報は、自治体において人手による情報整理編集、情報の突き合わせを行い、実働部局である消防・警察に通報で済ませている。

これをIT技術を活用し、より多く迅速に情報収集し、その情報の種類を分類・整理し、広く分かりやすく情報提供できるシステムの構築に向け検討する。

災害等緊急時には、迅速な広報が可能となり、また日常的な情報提供・蓄積より、そのデータベースから危険の度合いを予見し、道路、橋梁、ダム、堤防、急傾斜地等の災害を未然に確認し、社会基盤整備に役立てられるシステムに発展できるよう開発・検証していく。

他方、岐阜県において、財団法人岐阜県建設研究センター岐阜県ふるさと地理情報センターが管理している統合型ウェブGISとして「県域統合型GISぎふ」がある。



現行システムを利用した場合の課題は、

- ①今後普及が見込まれる多機能携帯電話スマートフォンには対応していない。
- ②提供された情報はシステム管理者によって整理されるため、大量の情報を整理することは困難。
- ③表形式の情報提供であるため、大量の情報を提供する場合閲覧性が悪い。などである。

岐阜県情報技術研究所の情報システム研究部長棚橋英樹氏らと協力し、これらの課題を解決し、新たに整備するシステムの基盤技術としていく。

具体的には、災害関連情報について情報提供の形式を検討し、県域統合型GISを基礎として、岐阜県情報技術研究所のIT技術により高度化する。今回、①モバイル災害情報提供インターフェースの開発、②災害情報の分類支援技術、③広く解りやすい情報提供技術の開発、等の機能を拡充させる。そして災害時を想定し、実証実験を行い、システムの評価対策を検討していく。

また、本課題を応用して、防災のみならず、各種行政サービスにも同種のシステムが利用可能であると思われる。

岐 阜高専・中核人材育成塾

本会は、岐阜高専が平成22年度から公的補助金の支援を受けて実施してきました「中核人材育成塾」を、今年度から、共催事業として有料研修を実施することになり、9月4日に同校の多目的ホールとビデオルームにおいて開講しました。

本研修の目的として、ものづくりの現場では“生産性の向上”と同時に“高品質”・“低コスト”を同時に達成する必要に迫られ、これらに対してリーダーシップを発揮して挑戦し、柔軟に対応できる“中核人材”の育成が緊急の課題となっており、明日からでも自職場で実践できるように“講義”

と“演習”を交え、分かりやすく解説します。

講師は、ものづくりについての豊富な経験や知識を有する岐阜高専産学官連携アドバイザー（岐阜高専OB）が務めます。

研修は、演習を主体とした実践的な内容で行われ、「5Sと見える管理で理想の工場づくり」「製造現場における問題解決手順」「現場管理者のためのコストダウン活動」「初歩から始める品質活動」の4テーマで11月8日まで約3週間おきに開講されました。

参加者は、岐阜高専地域連携協力会会員企業を含め、募集定員の各テーマ30名を超え、延140名から申し込みがあり、第1回目の「5Sと見える管理で理想の工場づくり」には36名が受講しました。なお、受講料は、各コースとも会員5,000円、非会員8,000円で、会員への優遇措置が設けられています。



第1回研修講義の様子



第2回研修演習の様子

岐 阜高専TOPICS

●新産業フォーラム・未来展2012に出展

岐阜高専は、7月24日（月）、25日（水）の両日、名古屋市の吹上ホールで開催された「新産業フォーラム・未来展2012」において、本会会員の株式会社タカイコーポレーションと情報科学芸術大学院大学（IAMAS）が共同開発した、競技用自転車素材のCFRPを用いた一般向け自転車「エムニカル」の試作機を展示し、開発段階からDEXCSを利用して構造解析を担当した岐阜高専建築学科柴田教授の共同研究成果を紹介し好評を得ました。



研究成果を説明する柴田教授

この催しは、新たな世界に向かって、産業界は従来の枠組みを超えた思考、創造力により日本のみならず世界を牽引するような新たなシステム、製品、技術の開発が求められていることから、一般社団法人中部産業連盟が、未来を創造する「新産業フォーラム・未来展」をテーマに、世界を牽引することを予感させる、未来のモビリティや社会・エネルギーなどを考える新産業フォーラムと、企業および大学の新技术・新商品・研究発表を行う展示セッションを併催し、未来ビジネス創造のための活発なプレゼンテーションや相談・商

談を行い、活力在る未来の創造を促すことを目的に開催されました。

●Make : Ogaki Meeting 2012に出展

岐阜高専は、8月25日（土）、26日（日）の両日に大垣市のソフトピアジャパンで開催された「Make : Ogaki Meeting 2012」において、岐阜高専のものづくりデザインの教育・研究紹介を行いました。

環境都市工学科廣瀬康之准教授は、地震ハザードや被災リスクをわかりやすく伝えるために「地域防災向上のための振動実験教材」を用いて、振動台の入力波形と構造物の振動モードなどを可視化し学生とともに来場者に説明を行いました。

電気情報工学科田島孝治助教は、岐阜高専におけるiPadを利用した情報教育として、パズル形式のアプリケーションを製作し、遊びながら情報技術の基礎を学習するプレゼンを行いました。



出展の様子

本イベントは、モノづくりを行っている個人、教育機関、企業のMaker（作り手）の発表と交流の場で、第1回（2010年開催）に引き続き、2年ぶりに開催されましたが、岐阜高専のブースは、多くの来場者で賑わい、活発な意見交換が行われました。

●アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012

【東海北陸地区大会の結果】

東海北陸地区の大会が10月14日（日）に福井県越前市の越前市体育館で開催され、岐阜高専Bチーム製作ロボットPETLIANが技術賞を受賞して全国大会への出場権を獲得しました。対戦結果は次のとおりです。

岐阜高専A（AIVAR）：準々決勝敗退

岐阜高専B（PETLIAN）：準々決勝敗退

【全国大会の結果】

平成24年11月25日（日）に東京・両国国技館で開催され、岐阜高専（PETLIAN）は善戦虚しく1回戦で敗れました。

全国大会のテレビ放映：

NHK総合12月16日（日）午後17：00～17：59

●ぎふサイエンスフェスティバルに出展

岐阜高専は、11月18日（日）に、昨年まで岐阜市科学館で開催していた「親子で体験！サイエンス・テクノロジー展」の代替事業として、岐阜県内の大学・高校等が協力して、岐阜市教育委員会と岐阜市科学館の共催により岐阜市文化センターで行われた「ぎふサイエンスフェスティバル」に出展し、理科好きな児童生徒に科学体験を提供しました。



出展の様子

岐阜高専地域連携協力会会員一覧（五十音順）

企業会員(196会員)

アーボ株式会社
株式会社愛岐通信
アイコクアルファ株式会社
有限会社青木エーエルシー企画
株式会社青山製材所
明智セラミックス株式会社
株式会社浅井精密
浅川建設株式会社
旭建設株式会社
朝日設備工業株式会社
アサヒフォーシ株式会社
株式会社アシストエンジニア
株式会社アステス
アビ株式会社
株式会社天木鉄工
株式会社アルテック
有限会社安藤建設
有限会社石原建具製作所
株式会社市川工務店
一級建築士事務所I.N.O
井納建設株式会社
社会福祉法人 井ノ口会
揖斐川工業株式会社
岩戸工業株式会社
株式会社インブルー
有限会社上田製パン
植村溶接工業所
株式会社鶏飼組
株式会社烏骨鶏本舗
榎本ビーエー株式会社
MTK株式会社
大垣愛陸運送株式会社
大垣瓦斯株式会社
株式会社大垣共立銀行
大垣信用金庫
大垣精工株式会社
大垣電機株式会社
オークマ株式会社
有限会社オートサービスイトウ
有限会社岡田鉄工所
有限会社小川自動車興業
株式会社尾関ホットランナープラン
有限会社折戸建設
株式会社オランダ製作所
株式会社亀山鉄工所
甲重機
株式会社川口組
株式会社川口タールサービス
川重岐阜エンジニアリング株式会社
貴動建設株式会社
岐セン株式会社
岐阜IT協同組合
株式会社岐阜エイロハット
岐阜ギヤー工業株式会社
岐阜県金型工業組合
岐阜車体工業株式会社
岐阜信用金庫
株式会社岐阜西武不動産
株式会社岐阜多田精機
岐阜西運送株式会社
共栄工業株式会社
有限会社国枝工業

国枝設備
株式会社久保田工務店
栗田産業有限公司
株式会社栗山組
株式会社グルーヴシステムズ
有限会社黒川工務店
株式会社黒田製作所
KYB株式会社
有限会社KENSHO
株式会社コーネット
有限会社小寺鉄工所
後藤浩之(代表者)
小牧木材株式会社
坂本硝子株式会社
株式会社桜井グラフィックシステムズ
株式会社佐合木材
サンヒロ株式会社
論不動産株式会社
三建塗装工業株式会社
三光化学工業株式会社
株式会社三進
サンメッセ株式会社
三和建設工業株式会社
株式会社十六銀行
有限会社ジョイントアップ
昭和ぶりんと
白木建設株式会社
杉山建設株式会社
株式会社スギヤマカレトロ
株式会社鈴龍
株式会社成建
西濃金属株式会社
西濃建設株式会社
西濃信用金庫
有限会社瀬川園
関信用金庫
創建設計株式会社
ソニーイーエムシーエス株式会社
東海テック美濃加茂サイト
大東株式会社
太平洋工業株式会社
株式会社大豊建材
タイムオートマシン株式会社
太陽工業株式会社
太陽電機工業株式会社
株式会社タウン
株式会社タカイコーポレーション
高橋建設株式会社
高山信用金庫
株式会社宝機材
株式会社瀧川建設
竹田設計工業株式会社
田中建設工業株式会社
田中造園土木
樽久有限会社
株式会社地域コンサルタント
株式会社チェックハウス
中央林材株式会社
中京実業株式会社
株式会社TYK
株式会社テムスシステム
株式会社電算システム
株式会社トーカイ

株式会社トゥーステップ
東海石材工業株式会社
株式会社東海パウデックス
東海理研株式会社
東濃信用金庫
株式会社TOHOTECH
株式会社東洋スタビ
東和工業株式会社
トキワ精工
株式会社トミタ
株式会社トヨタケーラム
トヨタテクニカル
ディベロップメント株式会社
直三工業有限会社
株式会社中島工務店
株式会社ナガセインテグレックス
中日本技工株式会社
ナガラ金属株式会社
長良製紙株式会社
有限会社ニシカワ
株式会社日榮商事
有限会社日テム
株式会社日商
日東工業株式会社
日本インシミュレーション株式会社
日本工業株式会社
日本システム開発株式会社
日本襖工業株式会社
有限会社根尾開発
有限会社根尾自動車工業
ノアハウス株式会社
有限会社橋本組
八幡信用金庫
林輝工業株式会社
株式会社光製作所
株式会社樋口製作所
株式会社フイアール・テクノセンター
株式会社深見製作所
福田設備工業株式会社
株式会社フレックラム
株式会社北誠商事
北斗株式会社
有限会社細野建設
株式会社堀部工務店
堀伊木材株式会社
株式会社マーク
有限会社松田刺繍
株式会社松野組
有限会社マブチ産業
有限会社丸島工務店
株式会社丸順
株式会社マルダイ
丸平建設株式会社
株式会社丸万不動産
株式会社マルミ建設
株式会社まんだら舎
三谷商事株式会社岐阜支店
株式会社箕浦
株式会社武芸川精工
株式会社メトーカーフ
株式会社メモリア
森正男税理士事務所
森松工業株式会社

守谷工業
文殊丸五製瓦工場
安田株式会社本店
山口精機工業株式会社
山田農園
株式会社ユタカ電子製作所
株式会社横山製作所
有限会社吉田鉄工所
株式会社ラボテック
有限会社理光物産

個人会員(20会員)

宇野 哲夫
江口 真澄
大岩 光司
大野 幸一
岡部 勝
荻須 雅夫
奥野 泉
金村 光洋
国枝 重一
桑原 喜代和
神山 清司
榊原 建樹
櫻井 省三
島崎 磐
高崎 豊
高津 正吉
坪井 務
新川 隆
堀 敏広
山田 清二

公共団体(28会員)

池田町
池田町商工会
揖斐川町
揖斐川町商工会
大垣市
大垣商工会議所
大野町
大野町商工会
各務原市
各務原商工会議所
北方町
北方町商工会
岐阜県
岐阜県インターンシップ推進協議会
岐阜県金属工業団地協同組合
社団法人岐阜県経営者協会
社団法人岐阜県経済同友会
社団法人岐阜県工業会
財団法人岐阜県産業経済振興センター
岐阜市
岐阜商工会議所
国立大学法人岐阜大学
神戸町
神戸町商工会議所
瑞穂市
瑞穂市商工会
本巣市
本巣市商工会

会員募集

岐阜高専地域連携協力会は、地元企業等と岐阜高専との連携及び地元企業等相互の交流を深めるとともに、同校の教育・研究に協力することを通して地域の産業並びに文化の振興を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的として平成19年12月に設立されました。

事業活動として、講演会・企業説明会・企業見学会・岐阜高専ラボ・ディスカバリー、交流会、人材育成事業及び技術相談・共同研究・受託研究等の促進を行っております。

つきましては、上記の事業活動にご理解、ご賛同をいただき、皆様の今後の経営・業務及び地域連携への一助として、本協力会に是非ご入会くださいとご案内申し上げます。

会費（年会費）

- ・企業・団体・法人会員 1口10,000円
- ・個人会員 1口 5,000円
- ・特別会員(地方公共団体及び公益法人等)免除。
- *年度途中に入会される場合の初年度の年会費は、入会年度の11月末までの月数に応じた月割り額となります。

入会をご希望の方は、岐阜高専地域連携協力会事務局へご連絡をお願い申し上げます。

岐阜高専地域連携協力会のホームページ

本協力会のHPを開設しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

下記のホームページでご覧いただけます。

<http://www.gifu-nct.ac.jp/techno/chikirenkei/>

岐阜高専教育・研究シーズ集

岐阜高専教職員の教育・研究シーズ集は、下記のホームページでご覧いただけます。

<http://www.gifu-nct.ac.jp/techno/seeds2012/>

編集後記

岐阜高専地域連携協力会は、会員皆様のご理解及びご支援により、会報第10号の発刊をすることができました。

今回の会報は、第6号と第8号で紹介しました岐阜高専産学官連携アドバイザーに新たに8名が加わり、環境都市工学科と建築学科においても、岐阜高専地域連携協力会会員の皆様のニーズと、岐阜高専のシーズとのマッチングを行う技術相談や岐阜高専への要望をお聞きする窓口が広がりました。

色々なご要望やご意見を、お気軽に岐阜高専地域連携協力会事務局へご連絡いただきますようお願い申し上げます。

この会報が会員の皆様にとって有益な情報源となりますよう一生懸命に努力させていただきますので、掲載記事についてご要望等がございましたら、岐阜高専地域連携協力会事務局へご連絡をお願い申し上げます。

末筆になりましたが、会員の皆様のますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

岐阜高専地域連携協力会事務局

〒501-0495

岐阜県本巣市上真桑2236-2

岐阜工業高等専門学校企画室研究協力係

tel.058-320-1213 fax.058-320-1220

e-mail: ken1@gifu-nct.ac.jp